

なるほど富士山セミナー vol.1



奥水達司(おしみず さとし)さん
山梨県生まれ。北海道大大学院理学研究科博士後期課程地質学鉱物学専攻修了。理学博士。山梨県環境科学研究所の自然環境研究部長。現在は、山梨県立大特任教授。日本地質学会、日本地下水学会などに所属。専門は地球年代学・固体地球物理学・地球環境変遷学。

開催日時: 2013年2月23日(土) 15:00~17:00

講師: 奥水達司(おしみず さとし)氏

テーマ: 「なぜ富士山はそこにあるのか」

会場: 山梨県立図書館 多目的ホール(2F)

参加: 無料※定員150名(入場券配布)

富 士山を世界文化遺産に登録する運動が大詰めを迎え、順調に進めば2013年6月末にも登録が期待されています。日本文化の形成に強く影響し、日本人の心の故郷である富士山。山梨県民にとって、富士山はとても身近な存在であり、有形無形に大きな影響を受けています。

世 界遺産に登録されると、国内はもとより、海外からも大勢の外国人が富士山を訪れることとなります。これを機会に、あらためて富士山に関する知識を深め、「世界遺産・富士山」のふもとに住む県民として、富士山を訪れる人たちを迎えたいと思います。「なるほど富士山セミナー」は、その入り口となるべく企画しました。

シ リーズ第1回となる今回は、山梨県が富士山の日に制定した2月23日を開催日とし、「なぜ富士山はそこにあるのか」をテーマに、富士山誕生の秘密、そしてなぜ富士山が今の位置にできたのかを探ります。日本列島の生い立ち、大地のダイナミックな動きから富士山の過去、現在、未来にアプローチし、富士山を知る第一歩とします。講師は山梨県立大特任教授の奥水達司氏。地質学の専門家で、前任の山梨県環境科学研究所は、長年にわたり富士山について研究を重ねてきました。分かりやすい内容で、幅広い年齢層の方に楽しんでいただくことができます。是非ご参加ください。

「なるほど富士山セミナー」は今後、信仰の対象としての富士山、文学や美術の中での富士山、被写体としての富士山、火山としての富士山など、各分野の専門家を講師に招き、シリーズで多角的に富士山に迫っていきます。



山梨県立
図書館

YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

* 主催: 山梨県立図書館指定管理者

(山梨文化会館・甲府ビルサービス・NTTファシリティーズ共同事業体)

* お問い合わせ先: 山梨県立図書館指定管理者 TEL055-255-1041

※内容は変更になる場合があります ※入場券は山梨県立図書館総合案内で配布しています